

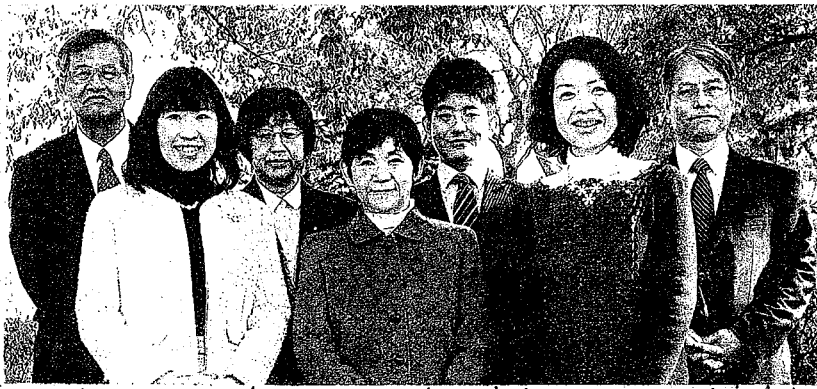
ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

No.1185

18.1.23

2019統一地方選候補紹介 日本共産党



後列左から ひめだ、松坂みち子、中村あさと、井本有一
前列左から 坂口夕美子、南畑さち代、森下さち子

和歌山県議選(一次候補)

◇和歌山市(定数15)

奥村のり子 現

県議3期。福祉環境委員

生協病院総務部長など歴任

松坂みち子 新

和歌山市議2期。新日本

スポーツ連盟専理理事長

◇海草市・海草郡(定数3)

河野敬二 新

海草市議2期。海草サッ

カー協会理事

◇西牟婁郡(定数2)

高田由一 元



フリーの人々 <968>
ハデにこけた
ズドン!!

朝起きると
寝起きの歩めがツライ

いばらくすると
フツに歩けるが
車脚になると2コマめに

10月めには
元の状態に
身体って
フシギ?!

09年、11年県議選。党
南地区副委員長

和歌山市議選(定数8)

森下さち子 現

市議7期。経済文教委員

党市議団長

ひめだ高宏 現

市議6期。総務委員

党市議団幹事長

南畑さち代 現

市議5期。建設企業委員

中村あさと 現

市議2期。厚生委員

党市議団副幹事長

坂口夕美子 新

和歌山県民医研委員長など

歴任。党県席任委員

井本 有一 新

国士高専専門学校卒。

党北地区区務任委員

おわびして訂正します

先週のみめだニュースで
お知らせした1月27日(土)
13時30分~15時、南出島地
区集会所で開かれる「改選

ノース千万人署名「アクリ
ョン交流会の講師・深谷登
さんは「和歌山市の条セン
ター事務局長」です。

今週のフリーの人々 (その131)

人体の不思議

1月13日(土)午後、
つじが丘テニスコート
でボールを打った勢いで
右ヒザと右の手のひらを
つく形でこけてしまいま
した。テニス仲間からは
「大丈夫か」と心配され
ましたが、痛いやら恥ぢ
かしいやら。まあ歩けた
ので骨が折れたわけでは
ないと、そのあとでもテニ
スを続けました。帰って
見ると右ヒザを1cmほど
すりむいていました。



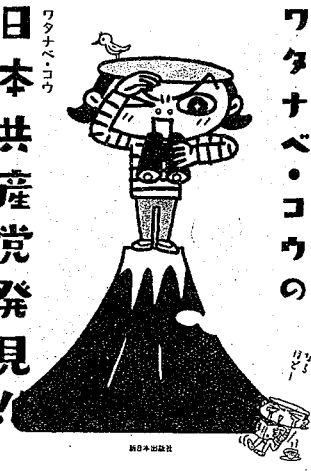
ひめだ高宏

ノース交流会
講師の役職

「ワタナベ・コウの日本共産党発見!!」

昨年末、新日本出版社から「ワタナベ・コウの日本共産党発見!!」(A5版171頁1620円)が出されました。ワタナベさんは1963年新潟県生まれ。

ワタナベ・コウの



ワタナベ・コウの日本共産党発見!!

職業は、裁縫家、漫画家、イラストレーター。石原都知事誕生後、10年前から選挙に行き始め、共産党に投票して来たのですが、ご自身の裁縫教室に赤旗編集局で働く女性が生徒として来るようになって、彼女の見た目が「フジーのおばさん」で「反天皇制を掲げて戦う革命家」(当時の認識)に見えなかったことから

共産党に興味が増え、「赤旗」を購読。実名を挙げて大企業を真向から批判する記事や国際面で世界をよりよく変えようとする姿勢を見て、共産党を学ばなければと共産党を知る企画を提案。共産党の「月刊学習」編集局が採用して、党員に話を聞きながら共産党について「発見」したことを書いたもの(連載中)。4コマやイラストも多く私も「お宝発見!!」を堪能。

「ふんば」松坂みち子

観劇

年金者組合主催の前進座新春特別公演を観劇、京都の先斗町歌舞練場へ行きました。

演目の一つは「唐茄子屋」という落語が元にな

った芝居でした。遊びが過ぎて勤当された大店の若旦那が、かぼちゃを漬けて自正していく様を描いたものです。昔を懐かしめて、また人の痛みを知り、温かさに触れてこそ成長する、という内容で、当然現在にも通じます。

「ふんば」は「唐茄子屋」という落語が元になつた芝居でした。遊びが過ぎて勤当された大店の若旦那が、かぼちゃを漬けて自正していく様を描いたものです。昔を懐かしめて、また人の痛みを知り、温かさに触れてこそ成長する、という内容で、当然現在にも通じます。



松坂みち子 (県議予定候補)

潮流

若くして日本人初の物理学教授となった山田健次郎の人生は、波乱に満ちました。

幕末に戦軍とされた会津藩城戦を生きたのびて米國に留学。懸命に学問に励み、ついに東京帝國大の総長まで上りつめました。近代日本の幕明け、文明とともに開化したのは、個人の能力や才能でした。それをふたたび閉じたのが、国家や軍部による個々の弾圧であり、戦争でした。歴史を顧みると、ゆるがせにはできません。戒めです。▼戦後30年、西のなかでの国会開会。安倍首相は施政方針で先の山川をはじめ、明治の時代を盛んに持ちあげました。先人たちにならい、あらゆる人にチャンスある日本をつくらなければならない、と訴えています。▼いま、個人の尊厳をかかげた市民運動が野党とも共闘してひらかいていきます。秘密法、戦争法、共謀罪。そして、9条改憲の議論まで。痛苦の体験から生まれた憲法によって保障されてきた個人の自由や権利が奪われ、危機感の高まりのなかで、▼明治回帰の力強い国づくり。そこには、国が個人の命を奪っていった道への反省は皆無です。首相はこの5年、76カ国・地域を訪ねて世界の平和や繁栄に貢献してきたと誇りながら、人類史上初の核兵器禁止条約には一言もふみません。した。▼働き方や生産性、人づくり。いこう改革や革命を付けて誇張しても、結局はお国のため、財界のため、人間らしい生活の実現や、国民の幸せを追求する理想から来てきたものではありませぬ。個人の尊厳をないがしろにして、何が新しい国づくりか。

日本共産党の 日刊紙 3497円
しんぶん赤旗 日曜版 823円